



つじどう小だより

2026年2月4日
藤沢市立辻堂小学校
校長 納富 崇典

学校の安全対策と安全教育

先日、2学期末に感染症の影響で延期となっていた「地震津波避難訓練」をようやく実施することができました。本校の敷地は、約半分が津波浸水区域に指定されています。大地震が発生した際、辻堂小学校は最大 50 センチ程度の津波が予想されているため、「2階以上へ避難すること」にしています。訓練中の子どもたちは、避難の合言葉である「お（おさない）・か（かけない）・し（しゃべらない）・も（もどらない）」をしっかりと守り、とても真剣に取り組んでいました。地震の揺れを感じたら、すぐに机の下で頭を隠す「サルのポーズ」をとること、そして自分の周りを見て「落ちてこない」、「倒れてこない」、「移動してこない」の【3ない】を自分で判断すること。こうした日頃の学びを、今回のような訓練の場でしっかりとできていたのが印象的です。特に、今回は休み時間中の地震という想定でしたが、それぞれの場所において自分で考え、すばやく行動する姿が見られ、積み重ねてきた経験が力になっていると感じました。



今後は、学校の中だけでなく、一歩外に出た時のことも考えていく必要があると感じています。登下校中に地震が起きたとき、通学路のどこに危ないものがあるのかを、子どもたち自身がどれだけ意識できているかは課題です。また、ご自宅が浸水区域にある場合、まずはどこへ逃げるのか、ご家族がすぐに帰れないときにどこで待ち合わせるのか、長期間避難することになると、どの避難施設に指定されているか等「家庭と地域の防災」について、学校側ももっと理解を深めておかなければなりません。今年度は自治会の会議にも参加させていただき、地域の皆さんがどのような備えをしているかを知る機会をいただきました。いざという時、学校と地域が手を取り合える関係でありたいと考えています。

学校では他に防犯対策も備えています。例えば、教室には警備会社にすぐつながる非常通報システムがあり、4つの門には防犯カメラを設置して不審者の侵入に備えています。また、入学時にお配りしている防犯ブザーに加え、来年からは市で一斉に実施する、位置情報がわかる「見守りタグ」という新しい見守りシステムも導入予定です（後日詳しく文書でお知らせします）。



防犯カメラの映像

学校行事としても、風水害に備えた引き渡し下校訓練や、火災避難訓練、交通安全教室、防犯訓練など、年間を通して様々な角度から安全教育を行っています。登下校のマナーや自転車の乗り方については課題となっているため、折に触れて話す機会をもってきました。知識を与える機会は多くあるため、どう判断して、行動するかということが課題です。安全については、子どもたち、学校、そして地域の皆さまと一緒に作り上げていきたいと考えています。これからも、子どもたちが自分の命を自分で守れる賢さと強さを育めるよう、支えていきたいと思っております。